

## 一般社団法人岩手県歯科衛生士会令和8年度「学術研修会」発表要旨

(令和8年6月28日開催)

### 会員発表①

#### 「公益社団法人日本歯科衛生士会 令和7年度『地域歯科衛生活動』助成事業報告

##### －食生活改善推進員における食べる機能体験研修会事業－

○小原博子 晴山婦美子 大友さつき（一般社団法人岩手県歯科衛生士会）

健康寿命の延伸のため、栄養・口腔の健康の重要性を発信する機会が多いが、口腔機能の維持が重要であることを啓発する機会は少なく、歯科衛生士のマンパワー不足により口腔機能を学ぶ機会について地域差がある。

そこで、地域で活動している食生活改善推進員を対象に、豊かな食生活を営むため、口腔が健康でリズムカルに動くことの必要性を情報提供し、地域住民に広く普及啓発し健康長寿に寄与することを目的とした研修会を実施したので報告する。

### 会員発表②

#### 「自立支援型地域ケア会議スタディグループの活動報告」

○富手由歌里 晴山婦美子 赤坂幾子（一般社団法人岩手県歯科衛生士会）

歯科衛生士が自立支援型地域ケア会議の場で、より専門的な助言ができることを目的とし、2022年に有志9名でスタディグループを立ち上げた。オンラインでの月1回の事例検討と年1回の集合研修を続け、現在33回を数え、会員は16名に広がっている。本発表では、口腔機能と生活機能の関連を踏まえ、地域の暮らしを支える包括的な支援につながる学びを継続してきた取り組みを報告する。

### 日本がん口腔支持療法学会第11回学術大会シンポジウム発表報告

#### 「歯科標榜のない病院におけるがん診療医科歯科連携と歯科衛生士の活動について」

○赤坂幾子（一般社団法人岩手県歯科衛生士会・元岩手県立中部病院）

岩手県立中部病院は、平成21年に開院し、病床数は434床の急性期病院である。当院は歯科標榜がなく、開院当初から地域歯科医師会と積極的な連携を行ってきた。平成24年度に歯科を標榜しない県立病院では初めて歯科衛生士が配置されて、地域歯科医師会と協働し口腔に関する問題の解決につとめている。今回は、がん診療医科歯科連携の経緯と取り組みと実績について、また歯科を標榜しない病院の中での歯科衛生士の活動について報告する。